

平成 22 年 4 月 28 日
国際石油開発帝石株式会社
広報・IR ユニット
(電話 03-5572-0233)

磐城沖ガス田の生産操業終了に伴う関連施設の撤去作業の開始について（お知らせ）

当社は、当社子会社の磐城沖石油開発株式会社を通じ、福島県^{ならは}榎町沖合の磐城沖ガス田で 1984（昭和 59）年から 2007（平成 19）年まで 23 年間の長期にわたり天然ガスの生産操業を行ってまいりました。同ガス田は、日本の太平洋側海域では初めての本格的な大型海洋ガス田です。

当社は、磐城沖ガス田の生産操業の終了に伴い天然ガスを開発するための坑井の廃坑作業などを進めてまいりましたが、今般、海上生産施設（プラットフォーム）の撤去作業を開始することになりました。撤去作業期間は本年 5 月から 7 月まで（約 3 ヶ月）を計画しております。

この作業の実施については、地域の関係者の皆さまに予めご説明を行いご理解いただいているところですが、作業にあたりましては細心の注意を払いながら進めてまいりますので、ご協力をお願い申し上げます。

（補足説明）

磐城沖石油開発株の概要

設立：1981（昭和 56）年 12 月 21 日（国際石油開発帝石株の 100%子会社）

事業形態：国際石油開発帝石グループとエクソンモービルグループとの共同事業

権益比率：磐城沖石油開発株式会社 50%

エクソンモービル有限会社 35%

東燃ゼネラル石油株式会社 15%

磐城沖ガス田の位置：福島県^{ならは}榎町沖合約 40km

累計生産量：天然ガス 約 56 億 m³（原油換算 約 3,500 万バレル）

：コンデンセート 約 71,480kl（約 45 万バレル）

磐城沖ガス田の開発概要

1973（昭和 48）年	ガス田発見
1981（昭和 56）年	プラットフォーム製作開始
1983（昭和 58）年	プラットフォーム設置
1984（昭和 59）年 7 月	商業生産開始。生産された天然ガスおよびコンデンセートは、全量を東京電力株式会社の広野火力発電所へ供給。
2007（平成 19）年 7 月	商業生産終了

以上

